

島根県の経済動向

平成21年3月30日
政策企画局統計調査課

平成21年1月分

先月からの主要変更点

	1月分	12月分
総括判断	<p>本県経済は、悪化している。</p> <p>生産活動は大幅に低下、雇用情勢は悪化、<u>個人消費は弱い動きとなり</u>、投資動向も基調として弱い動きが続いている。</p>	<p>本県経済は、悪化している。</p> <p>生産活動は大幅に低下、雇用情勢は悪化し、個人消費はやや弱い動き、投資動向も基調として弱い動きが続いている。</p>
個別項目	「個人消費」 <u>弱い動き</u>	「個人消費」 やや弱い動き

(注) 下線部は、先月から変更した部分。

島根県の経済動向

平成21年1月分

平成21年 3月30日
政策企画局統計調査課

— 本県経済は、悪化している。 —

生産活動は大幅に低下、雇用情勢は悪化、個人消費は弱い動きとなり、投資動向も基調として弱い動きが続いている。

生産活動	➡	～大幅に低下～	鉱工業生産指数（季節調整済指数）は73.9、対前年同月比は▲29.5%と3か月連続で大幅な減となった。大口電力需要実績も前年を大きく下回り、生産活動は大幅に低下している。
雇用情勢	➡	～悪化～	有効求人倍率は0.67倍に低下し、新規求人数は4か月連続で前年を下回った。また、きまって支給する給与も3か月連続でマイナスとなり、さらに所定外労働時間（製造業）は64%の減と前年を大幅に下回っており、雇用情勢は悪化している。
個人消費	➡	～弱い動き～	ホームセンター販売額は9か月連続で前年を上回ったが、大型小売店販売額は4か月振りに、家電量販店販売額は11か月振りに前年を下回り、弱い動きとなっている。
投資動向	➡	～基調としては弱い動き～	建築着工床面積は2か月振りに前年を上回ったが、公共工事請負金額は2か月連続で、新設住宅着工戸数は3か月連続で前年を下回っており、基調としては弱い動きが続いている。
企業倒産	➡	～倒産件数3件～	企業倒産件数は3件。うち建設業は1件、製造業は1件。
金融情勢	➡	～貸出金残高は2か月連続でプラス～	銀行預金残高は7か月連続で前年を上回った。銀行貸出金残高は2か月連続で前年を上回った。
物 価	➡	～対前年0.1%上昇～	消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は101.4となり、対前年同月比0.1%増と15か月連続で上昇となった。
その他 (参考)	島根県景気動向指数 (平成21年3月30日公表)		景気動向指数の先行指数は6か月連続で50%ラインを下回った。一致指数は5か月連続で50%ラインを下回った。
	法人企業景気予測調査結果 (平成21年3月23日公表)		財務省松江財務事務所の景況判断は、現状(21年1～3月期)の景況判断BSIは▲52.0%ポイントと「下降」超幅が大きく拡大している。 先行きについては、翌期(4～6月期)、翌々期(7～9月期)と「下降」超幅が縮小する見通し。

経 済 指 標	前年同月比（*を除く）%						
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
生産活動	* 鉱工業生産指数（季節調整済指数）	98.7	100.8	98.1	83.3	81.3	73.9
	〃（原指数）	▲ 8.2	▲ 1.5	▲ 7.9	▲ 23.1	▲ 20.9	▲ 29.5
	大口電力需要実績	1.3	1.0	0.6	▲ 6.7	▲ 18.2	▲ 29.1
雇用情勢	* 有効求人倍率（倍）	0.88	0.86	0.84	0.80	0.76	0.67
	新規求人数	▲ 15.2	1.4	▲ 13.6	▲ 14.6	▲ 8.8	▲ 21.1
	常用労働者数	0.9	1.1	1.7	2.5	2.0	0.3
	現金給与総額	0.0	0.5	▲ 0.1	▲ 0.8	▲ 4.5	0.8
	きまって支給する給与	1.2	0.8	0.3	▲ 1.1	▲ 0.9	▲ 0.4
	所定外労働時間（製造業）	▲ 12.3	▲ 19.2	▲ 20.4	▲ 40.4	▲ 51.9	▲ 64.1
個人消費	大型小売店販売額	1.9	▲ 0.9	1.9	1.7	2.8	▲ 2.6
	ホームセンター販売額	2.7	3.2	3.4	5.2	2.0	1.8
	家電量販店販売額	9.3	0.7	3.4	11.9	1.4	▲ 0.5
	乗用車新車登録台数	▲ 6.7	▲ 1.0	▲ 2.4	▲ 14.3	▲ 17.2	▲ 13.3
	出雲空港利用者数	15.1	1.0	2.8	▲ 4.1	▲ 8.6	▲ 6.5
投資動向	建築着工床面積（非居住用）	1.0	▲ 58.3	130.6	10.7	▲ 40.4	38.1
	公共工事請負金額	▲ 1.9	3.3	▲ 13.7	0.7	▲ 17.8	▲ 20.3
	新設住宅着工戸数	49.8	42.6	3.8	▲ 34.5	▲ 29.9	▲ 42.5
企業倒産	* 企業倒産件数（件）	4	4	11	5	8	3
	* 負債総額（百万円）	1,682	490	6,192	629	1,295	481
金融情勢	銀行預金残高	3.6	0.8	0.8	2.8	1.4	2.1
	銀行貸出金残高	▲ 0.2	▲ 0.0	0.0	0.0	0.5	0.9
物 価	* 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）	103.0	103.1	103.0	102.2	101.9	101.4
その他	* 景気動向指数（先行指数）	28.6	28.6	28.6	28.6	14.3	28.6
	* 景気動向指数（一致指数）	61.1	22.2	11.1	33.3	33.3	11.1

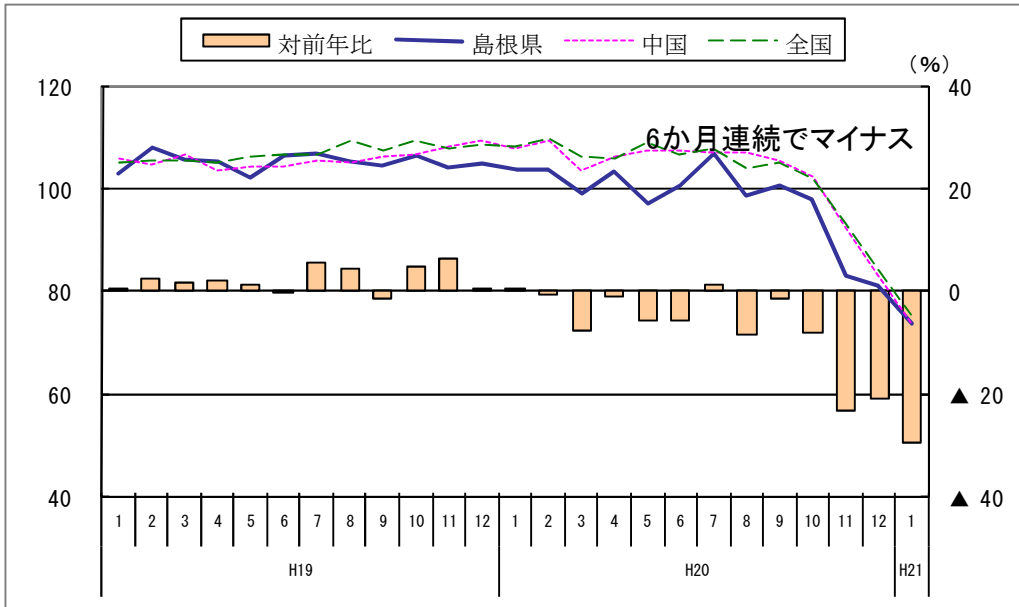
経済動向に関する他機関の公表資料（抜粋）

全 国	「月例経済報告（内閣府）」 平成21年3月16日											
	<p>景気は、急速な悪化が続いており、厳しい状況にある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 輸出、生産は、極めて大幅に減少している。 ・ 企業収益は、極めて大幅に減少している。設備投資は、減少している。 ・ 雇用情勢は、急速に悪化しつつある。 ・ 個人消費は、緩やかに減少している。 <p>先行きについては、当面、悪化が続くとみられ、急速な減産の動きなどが雇用の大幅な調整につながる事が懸念される。加えて、世界的な金融危機の深刻化や世界景気の一層の下振れ懸念、株式市場の変動の影響など、景気をさらに下押しするリスクが存在することに留意する必要がある。</p>											
中 国 地 方	「中国地域の経済動向（中国経済産業局）」 平成21年3月12日											
	<p>中国地域の景気は、生産は急速に低下、雇用は悪化、個人消費は減少傾向となっており、景況感も依然として厳しい水準にあるなど、後退しています。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 生産動向…急速に低下</td> <td>2. 景況感…依然として厳しい水準</td> </tr> <tr> <td>3. 産業用電力需要…大幅に減少</td> <td>4. 物 価…下落傾向</td> </tr> <tr> <td>5. 個人消費…減少傾向</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 設備投資…減速感</td> <td>7. 建設動向…低調</td> </tr> <tr> <td>8. 雇用動向…悪化</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 企業倒産…増加傾向</td> <td>10. 貿 易…大幅に減少</td> </tr> </table>	1. 生産動向…急速に低下	2. 景況感…依然として厳しい水準	3. 産業用電力需要…大幅に減少	4. 物 価…下落傾向	5. 個人消費…減少傾向		6. 設備投資…減速感	7. 建設動向…低調	8. 雇用動向…悪化		9. 企業倒産…増加傾向
1. 生産動向…急速に低下	2. 景況感…依然として厳しい水準											
3. 産業用電力需要…大幅に減少	4. 物 価…下落傾向											
5. 個人消費…減少傾向												
6. 設備投資…減速感	7. 建設動向…低調											
8. 雇用動向…悪化												
9. 企業倒産…増加傾向	10. 貿 易…大幅に減少											
山 陰 地 方	「山陰の金融経済動向（日本銀行松江支店）」 2009年2月27日											
	<p>山陰両県の景気は、悪化している。すなわち、最終需要面をみると、個人消費は低調な動きとなっている。設備投資は、収益の一段の悪化等を背景に減少している。また、住宅投資は一段と低調となっているほか、公共投資も引き続き減少している。こうした中、生産は減産強化の動きが広がり、大幅に落ち込んでいる。雇用・所得情勢も厳しさを増している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産は、減産強化の動きが広がり、大幅に落ち込んでいる。 ・ 個人消費は、低調な動きとなっている。 ・ 設備投資（12月短観調査）は、収益の一段の悪化等を背景に減少している。 ・ 公共投資は、引き続き減少している。 ・ 住宅投資は、一段と低調となっている。 ・ 雇用・所得情勢は、製造業の操業度低下などから、厳しさを増している。 											
山 陰 地 方	「山陰経済動向（山陰経済経営研究所）」 平成21年2月24日											
	<p>当地の景気は、公共投資が低調に推移するなか、生産が急速に悪化するとともに、個人消費や雇用情勢、住宅建設などには弱さがうかがえ、総じて悪化が進んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共投資は、低調な推移が続く。 ・ 設備投資は、全産業でも前年度を下回る計画（日銀短観12月）。 ・ 住宅建設は、弱い基調での動きが続く。 ・ 個人消費は、弱い動きが強まっている。 ・ 生産は、急速に悪化が進んでいる。 ・ 雇用情勢は、総じて弱い動きが続いている。 ・ 企業の業況判断は、足元、製造業、非製造業ともに悪化したことから、全産業でも悪化（▲25→▲39）。先行き（09年3月）についても、製造業、非製造業ともに悪化を予想していることから、全産業で悪化（▲39→▲52）の見通し（日銀短観12月）。 											
島 根 県	「島根県の経済情勢（財務省松江財務事務所）」 平成21年1月28日（四半期ごとに公表）											
	<p>県内経済は、悪化しつつある。生産活動がこのところ急激に低下している。さらに、個人消費は一部に厳しさがみられ、雇用情勢で弱い動きが鮮明になっているほか、企業収益も大幅な減益見込みとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人消費 一部に厳しさがみられる ・ 生産活動 このところ急激に低下している ・ 雇用情勢 弱い動きが鮮明になっている ・ 公共事業 前年度を下回っている ・ 設備投資 20年度は減少見込み ・ 企業収益 20年度は大幅な減益見込み 											

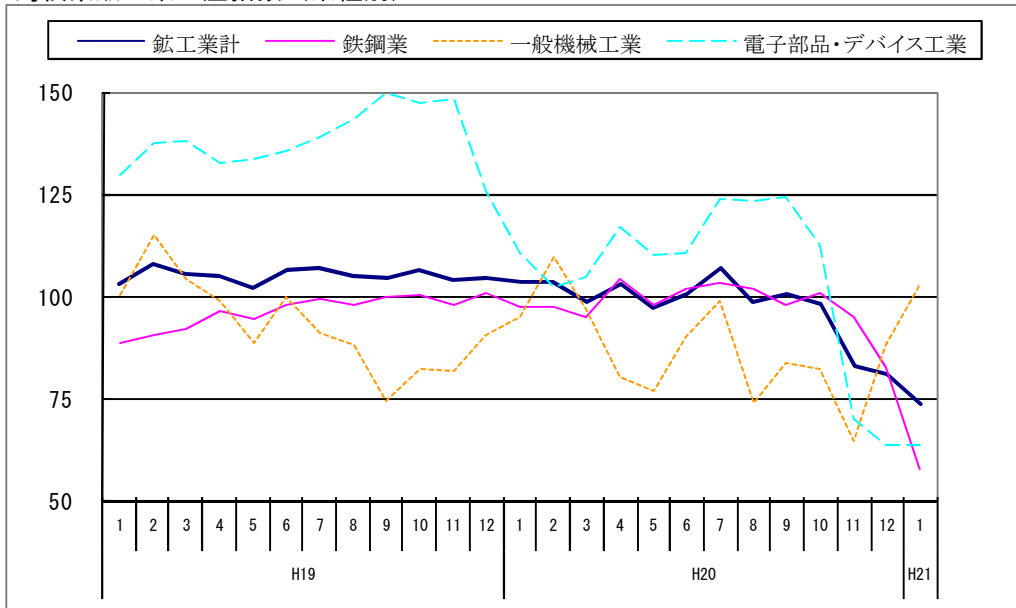
経済指標の推移

【生産活動】 ～大幅に低下～

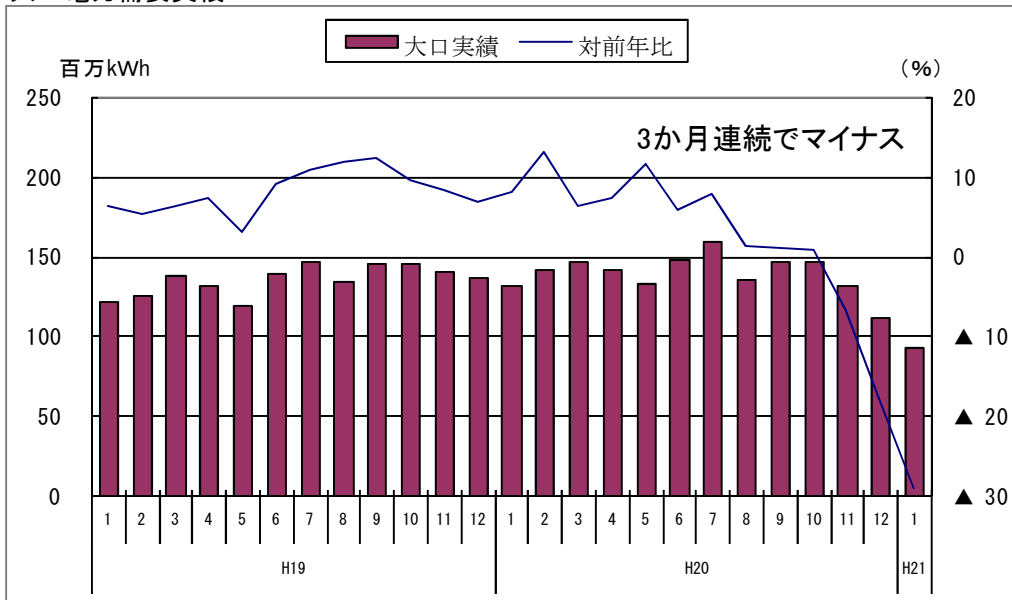
鉱工業生産指数（季節調整済 平成17年=100）



島根県鉱工業生産指数（業種別）

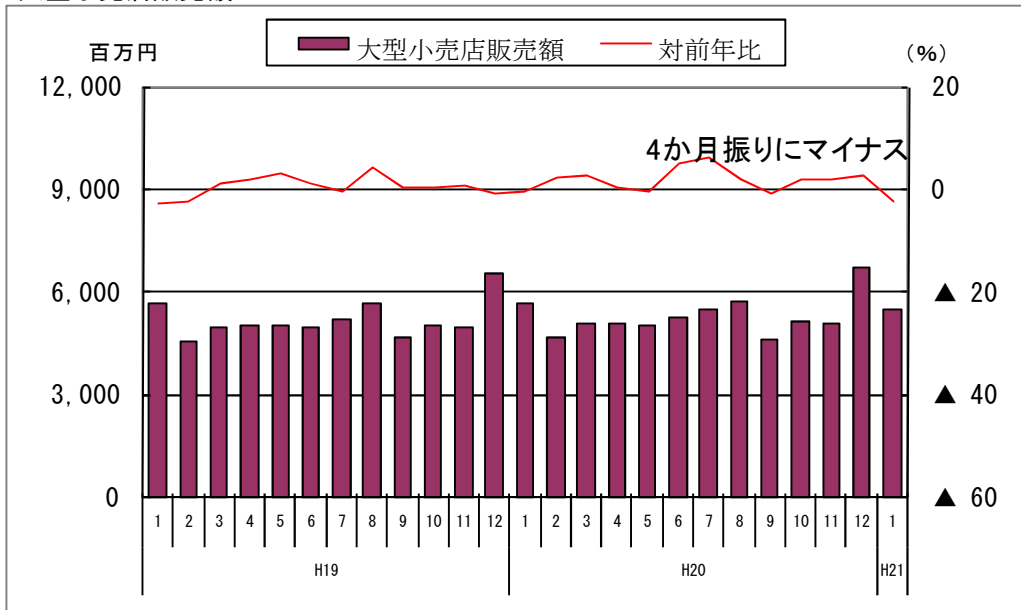


大口電力需要実績

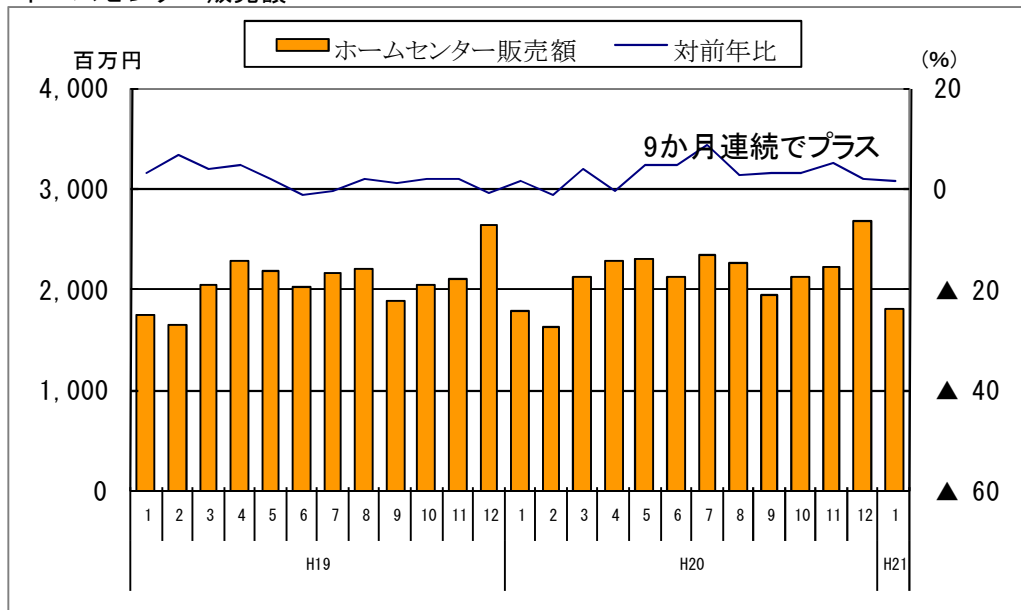


【 個人消費 】 ～弱い動き～

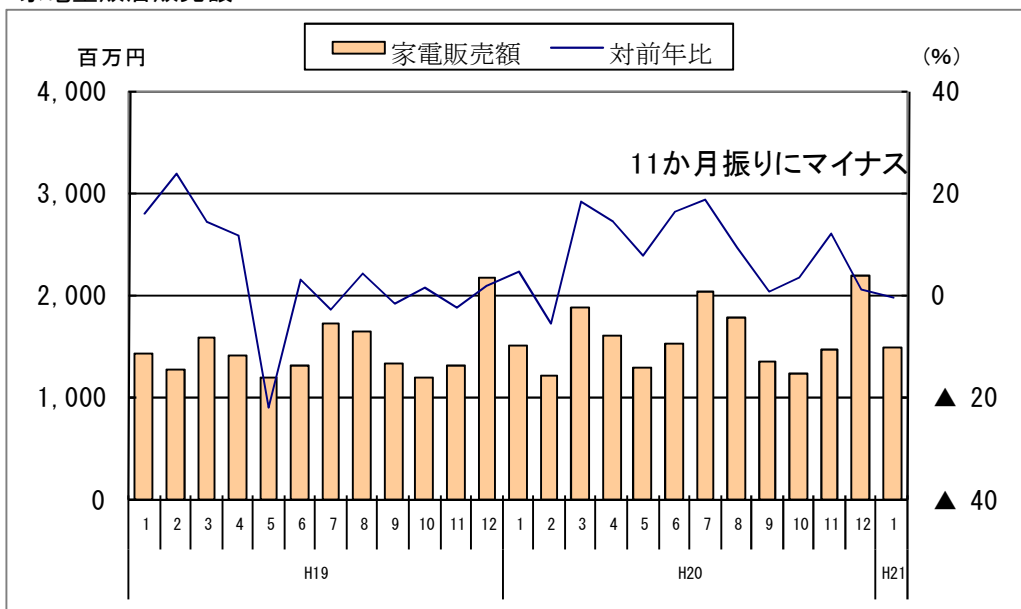
大型小売店販売額



ホームセンター販売額

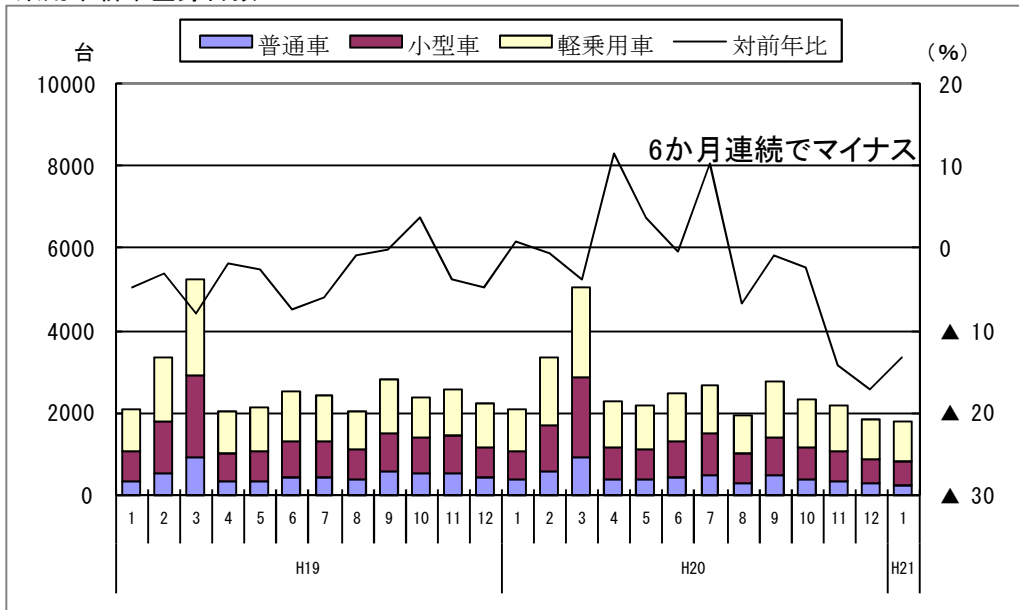


家電量販店販売額

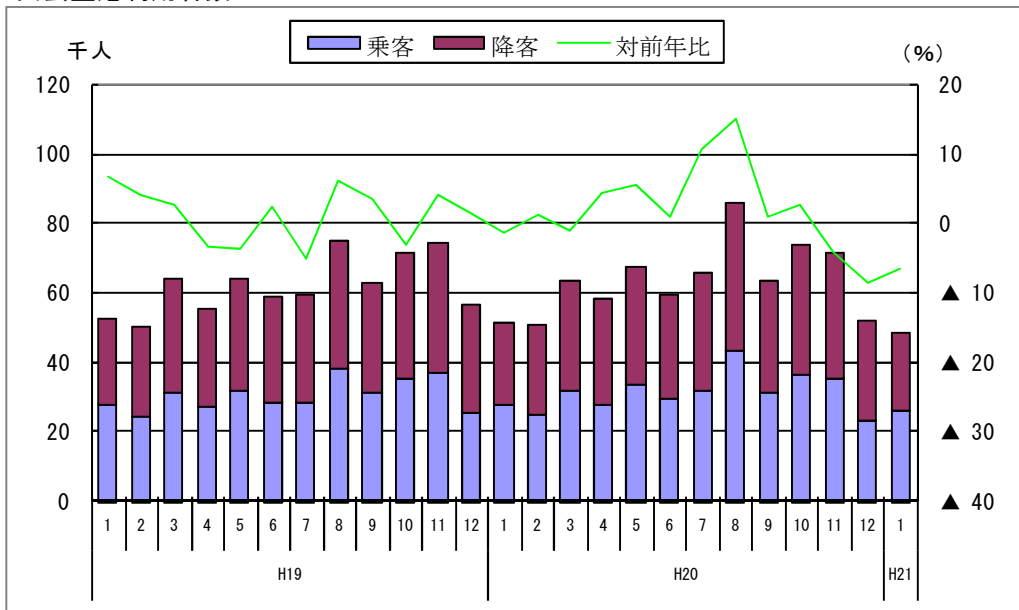


【 個人消費 】 ～弱い動き～

乗用車新車登録台数

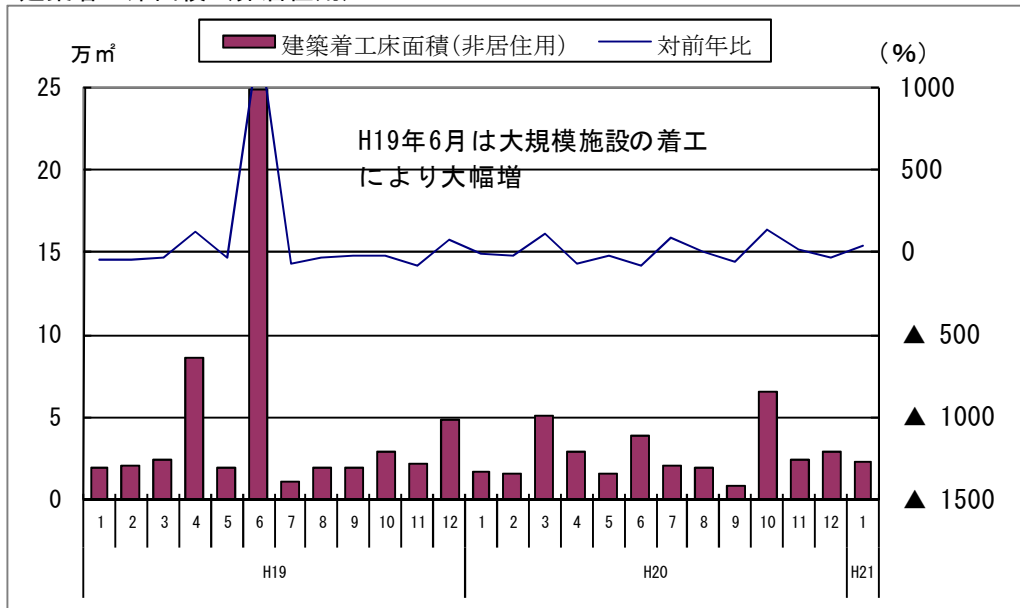


出雲空港利用者数

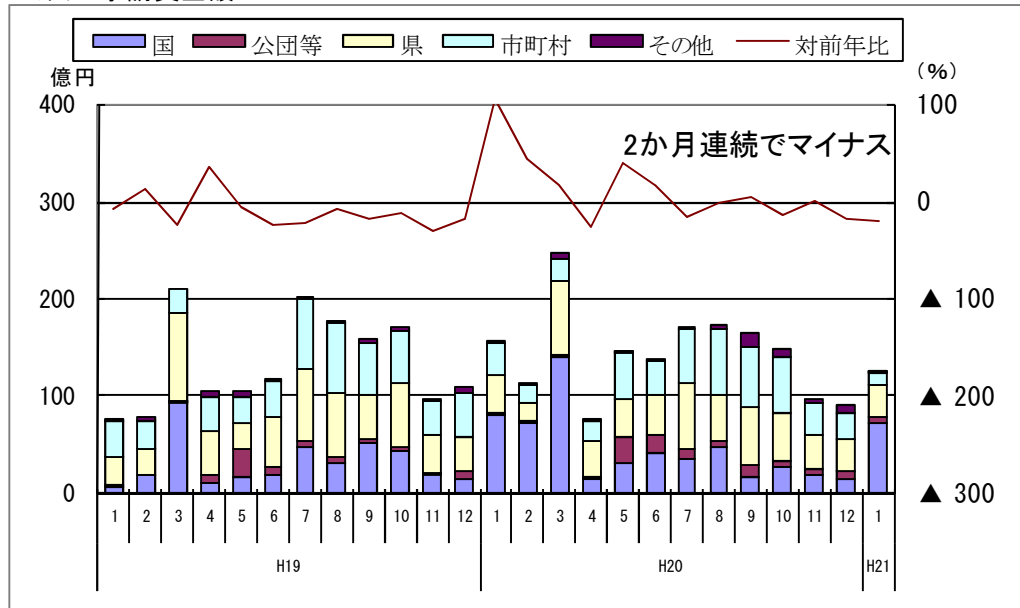


【 投資動向 】 ～基調としては弱い動き～

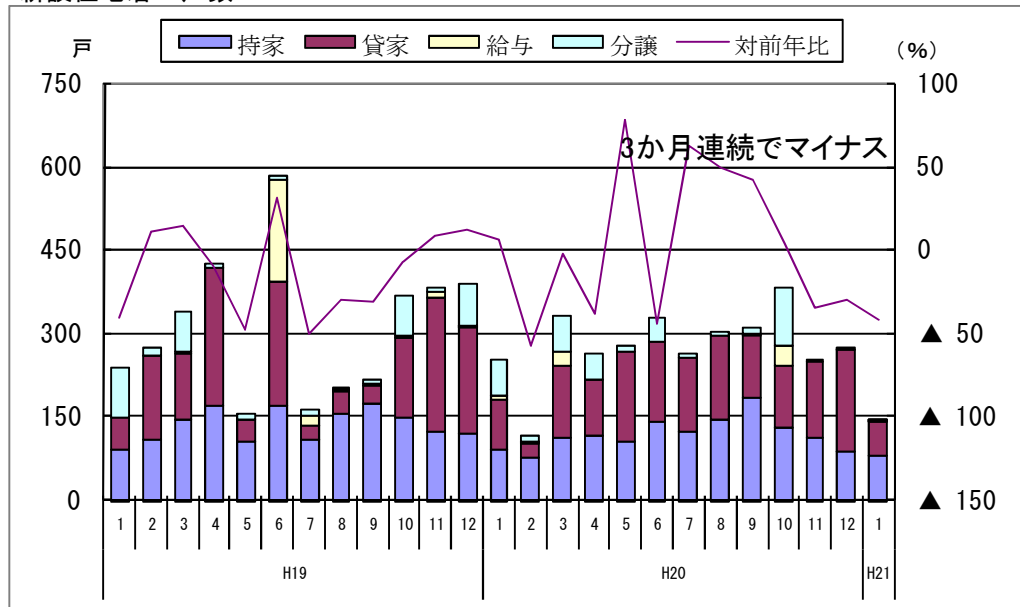
建築着工床面積（非居住用）



公共工事請負金額

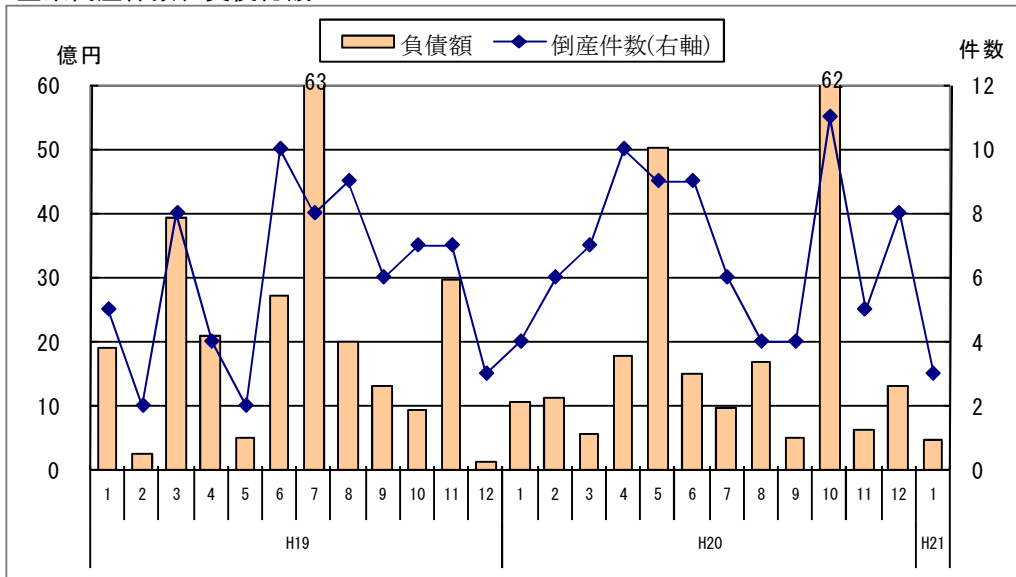


新設住宅着工戸数



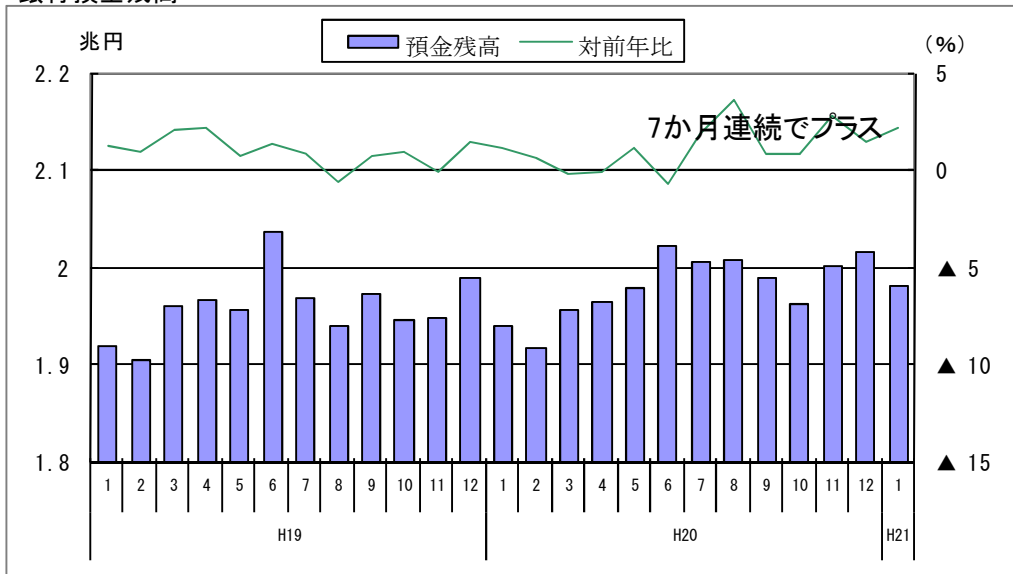
【 企業倒産 】 ～倒産件数 3 件～

企業倒産件数、負債総額

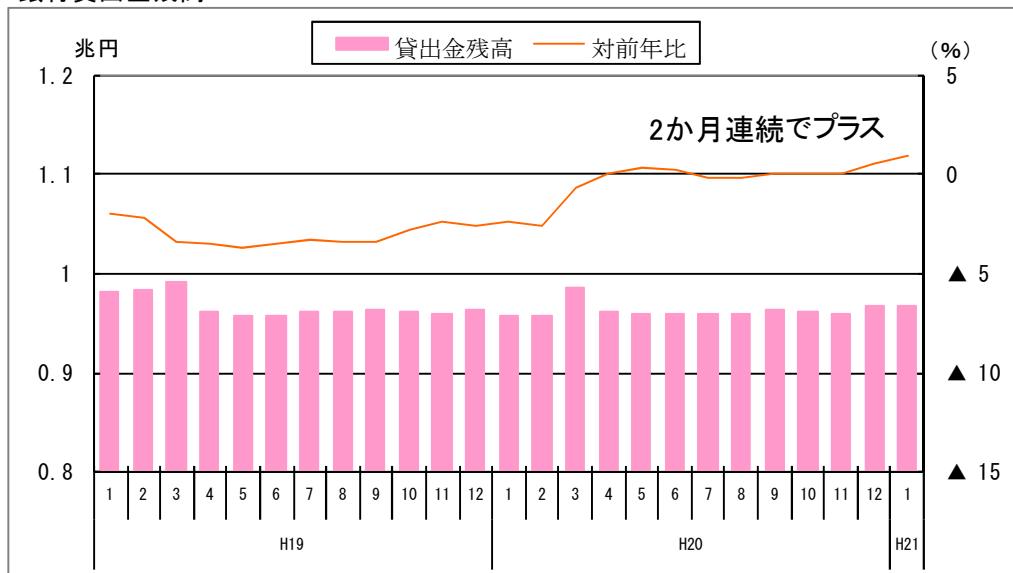


【 金融情勢 】 ～貸出金残高が2か月連続でプラス～

銀行預金残高

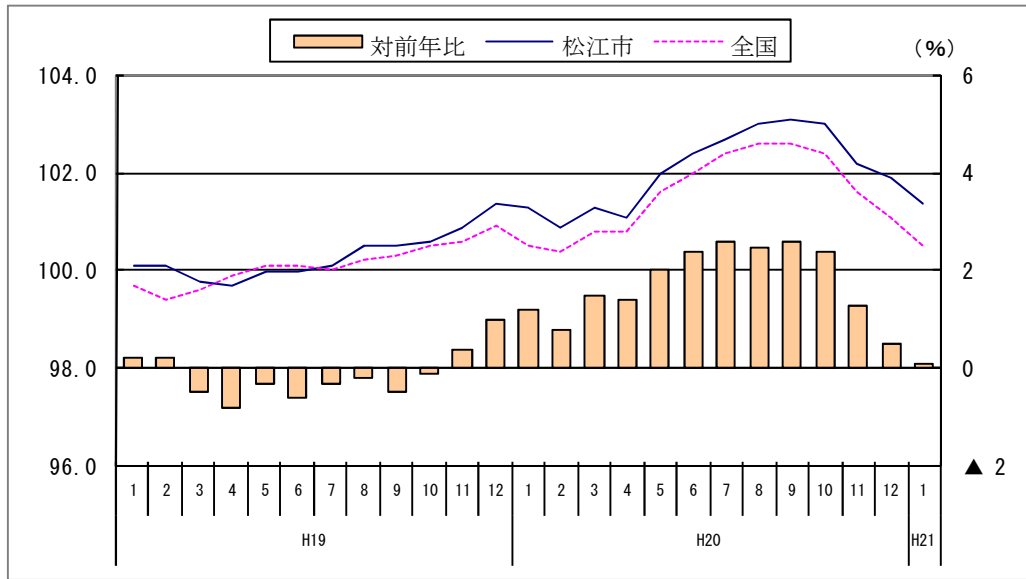


銀行貸出金残高



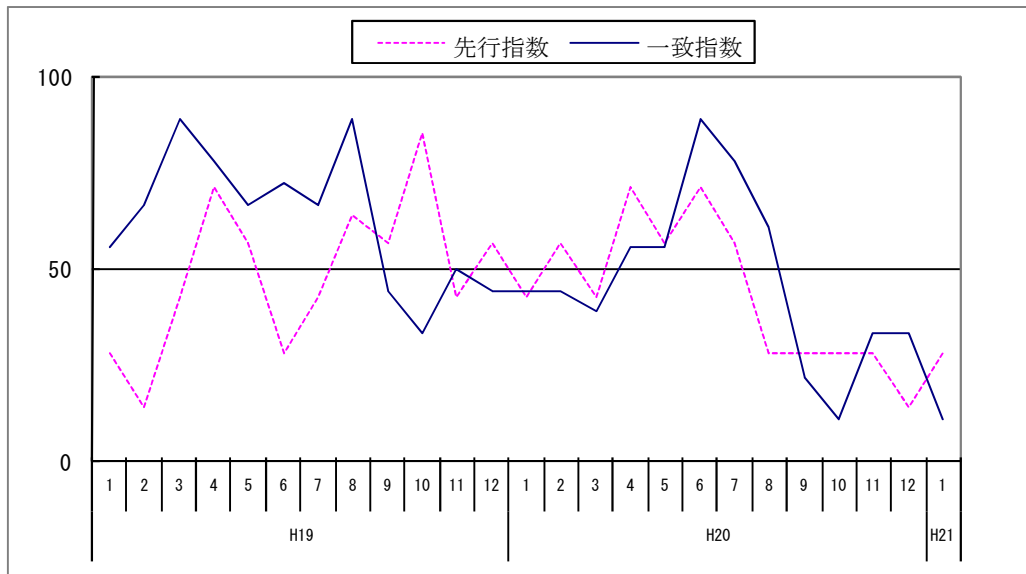
【物 価】 ～対前年0.1%の上昇～

消費者物価指数（生鮮食品を除く総合） H17=100



その他(参考)

島根県景気動向指数



法人企業景気予測調査結果（平成21年3月23日 財務省松江財務事務所）
平成21年 1～3 月期調査

景況判断BSI

(BSI：前期比判断「上昇」－「下降」社数構成比)

(%ポイント)

区 分	20年10～12月 前回調査	21年 1～3月 今回調査	21年 4～6月 見 通 し	21年 7～9月 見 通 し
全 産 業	▲ 31.3	(▲33.3) ▲ 52.0	(▲23.2) ▲ 42.9	▲ 19.4
製 造 業	▲ 45.0	(▲40.0) ▲ 66.7	(▲25.0) ▲ 51.3	▲ 23.1
非製造業	▲ 22.0	(▲28.8) ▲ 42.4	(▲22.0) ▲ 37.3	▲ 16.9
大 企 業	▲ 50.0	(▲16.7) ▲ 33.3	(▲33.3) ▲ 33.3	▲ 33.3
中堅企業	▲ 27.3	(▲18.2) ▲ 54.5	(▲9.1) ▲ 36.4	▲ 9.1
中小企業	▲ 31.7	(▲43.3) ▲ 52.5	(▲30.0) ▲ 47.5	▲ 23.7

※ () 書きは、前回(20年10～12月期)調査時の見通し。